

薬だつ知識

62

世界保健機関（WHO）は2019年、患者安全を促進するため、毎年9月17日を「世界患者安全の日」と定めました。厚生労働省は11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」としています。国が推進する医療DX（デジタル・トランスフォーメーション）は医療安全にもつながります。例えば、マイナンバーカードに保険証機能を加えた「マイナ保険証」を利用すると、医療情報や特定健診情報を病院と薬局で共有することが可能になります。薬剤師は得られた情報から処方内容を分析、患者に安全な薬の提供、他の疾病予防

医療安全



患者に薬を渡す際は写真を撮って薬剤服用歴に保存する

のための情報提供などができるようになります。

最近では薬局のIOT（モノのインターネット）化が進み、人が関わる業務を減らすことで、多くの人的ミスを未然に防ぐことが可能になっていま

DX化病院と情報共有

す。しかし、人の作業全てがなくなることはなく、高度な操作を要求されることもあるため、薬剤師は必要な最新の知識と技術を習得し、ミスが起こらないように取り組んでいます。

調剤ミスなどの医療事故が起きた場合、薬剤師会や医療機能評価機構に事例を報告する体制が築かれています。報告するだけでなく、他の薬局や病院の報告事例について収集・分析された情報を入力し、ミスの防止に取り組んでいます。また、薬局や病院の従業員は年に数回、医療安全に必要な最新の知識を身につけるための研修を受けています。

患者にとつて、医療事故はあってはならないことです。しかし、医療従事者も人間であり、ミスが起こることもあります。そのリスクを減らすため、薬剤師は日々の業務の中で患者の安心安全を考え、質の高い医療や薬物治療を提供できるように取り組んでいます。（鹿児島県薬剤師会常務理事・末永雄大）